



クビナガリュウ  
ホッピー

むかわ町立穂別博物館

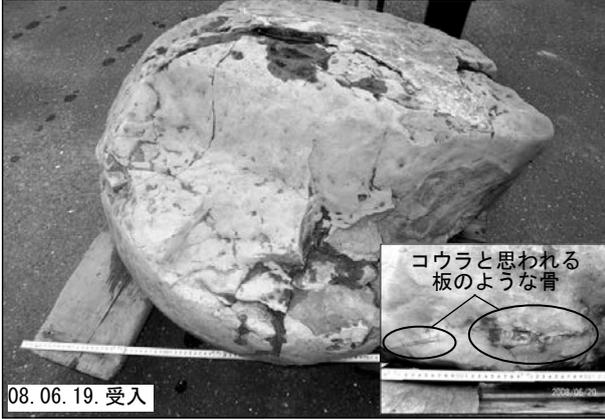
054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別80-6 0145-45-3141

http://www10.plala.or.jp/mukawa/soshiki/hakubutsukan/

### むかわの化石 (その2)

## 最近、見つかった骨化石

カメ化石の入ったノジュール(直径約1m)



08.06.19. 受入

カメ化石 (白亜紀) むかわ町穂別  
採集協力: 荒木新太郎 堀田直幸  
堀田良幸 阿部利春

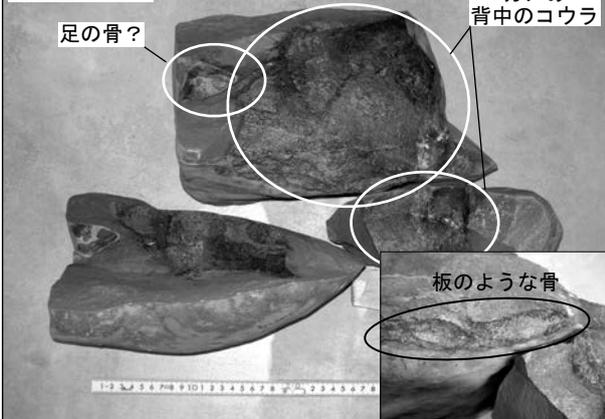
クジラの頭の骨 (約60cm)



08.06.16. 受入

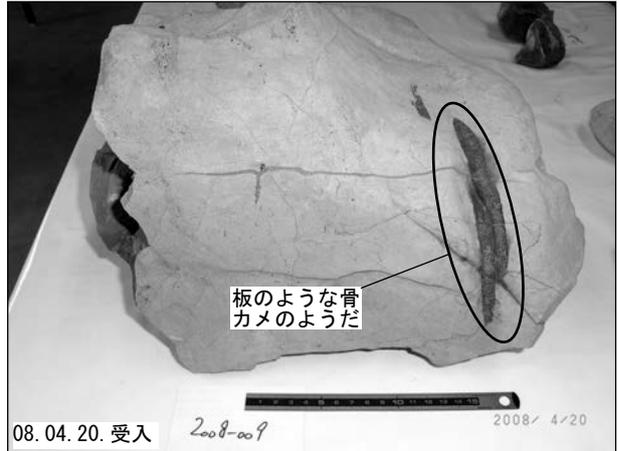
クジラ化石 (新生代) 平取町  
寄贈: 佐藤 進 (日高町富川)

08.06.14. 受入



カメ化石 (白亜紀) むかわ町穂別稲里  
寄贈: 大和治生 (札幌市)

寄贈・協力して頂いた方々に、お礼申し上げます



カメ化石? (白亜紀) むかわ町穂別稲里  
寄贈: 千歳化石会 (服部義幸)

(学芸員 桜井)

## 夏の特別展「海へ帰った動物たち -穂別のセキツイ動物の秘密-

7/19 (土) ~8/31 (日) 穂別博物館 特別展示室

モササウルスは、何を食べた?



コウラは、何でできている?



クビナガリュウは、どのように泳いだ?



むかし、陸を歩いていた?



のり巻きのような歯?



・クビナガリュウはどのように泳いだ? モササウルスは何を食べた? クジラはむかし、陸を歩いていた? 海の動物の秘密を大特集!

・「海へ帰った」ってどういう意味? 化石を見ながら、考えよう!

協力: 足寄動物化石博物館

# もしや、“ご先祖さま？！”の巻

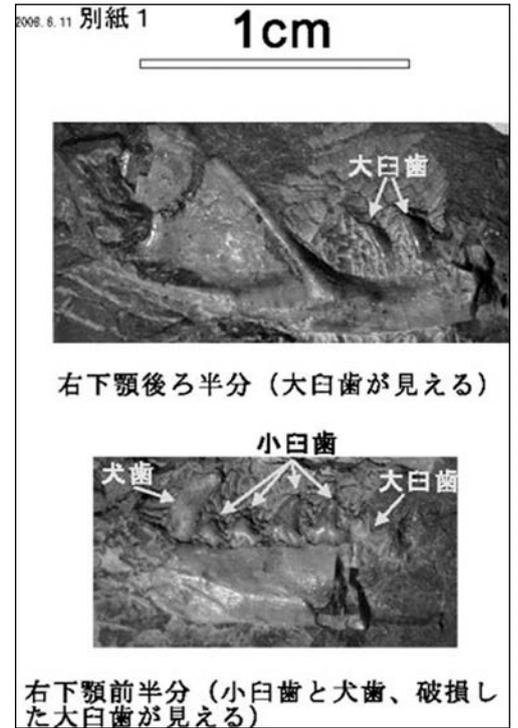
先日、新聞に兵庫県篠山市で国内最古とみられるほ乳類の化石が見つかったと報じられました。ほ乳類とは、我々人類も含めた乳で子育てをする動物の事です。その記事を読まれた方はおわかりでしょうが、ふつうに考えて「日本最古のほ乳類化石」と言われるとみなさんはどんな生き物を想像しますか？

約1億3000数百万年前の生き物で、体長10数センチ、雑食の夜行性。実は、現在のネズミに外見がとても似ていたとか（もちろん、本当のネズミではありません）。「ネズミがせんぞー？」とショックを受けないで下さい。彼らの頑張りがあったればこそ！！

1億3000万年前といえば、中生代・白亜紀です。その頃、我々のご先祖様が生活していたであろう場所は陸。そこでは、あの恐竜たちが天下をとっていたのです。見つかったらすぐにでも食べられちゃうような過酷な環境を生き抜くために、我々のご先祖様は、恐竜が寝ている夜に行動すればいいんだ！とヒラめいたのでしょか？真っ暗な中でも活動できるように聴覚を発達させ、さらには、（ここからが大事）なんでも食べられる歯をも獲得したのです。その歯の獲得こそが、後にエネルギーを大量に消費する「脳」の発達へとつながっていくんですと！そうしてほ乳類の脳だけに存在する「大脳新皮質」、これを手に入れ、恐竜たちの目を盗みながら、コソコソと生き延びてくれたのです。そのおかげで、あの巨大な、強力な恐竜たちが絶滅した後、ほ乳類は爆発的に種類を増やし進化を続け、現在まで「生命」をつなげてきたのです。

さて、そのネズミのようなものから、どうやったら「私たち」までつながるのかしら？ちょっと考えても、無理があるとは思いませんか？このつづきは、またいつの日か…。

(普及員 打本)



右下顎後ろ半分（大白歯が見える）

右下顎前半分（小白歯と犬歯、破損した大白歯が見える）

(写真提供：兵庫県立人と自然の博物館)

## “化石まつり～”のおしらせ☆

日時 8月1日（金）～3日（日）

内容 化石クリーニング、レプリカづくり、石割り体験、ホッピー輪投げ  
博物館ウォークラリー、ホッピーくじびき [景品がもらえるよ]

夏休みにはみんなで博物館にきてね まってるよ～♪

7/20(日)～26(土)は、博物館開館記念の町民無料入館日です

### むかわの化石や生き物



(穂別地区で08.06.21に採集)

### カニのこうら（化石）

白亜紀の穂別にいたカニの化石。古くは*Plagiolophus*と呼ばれたが、最近では*Archaeopus ezoensis*。60年以上も前に穂別で発見された標本が基準となっている。本州中南部の深海にいる現在のユウレイガニの仲間らしいが、どのようなカニなのかな？（大きさ約1.5cm）

2008年7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

7月のこよみ

・7-8月は無休です

○：町民無料入館日  
(7/20-26は開館記念の無料入館日です)

クビナガリュウ、モササウルス、ウミガメ、クジラ・イルカ、デスマスチルス...昔の穂別を代表する動物たちです。彼らはみな、「海へ帰った動物」とも呼ばれます。なぜ「帰った」と言われるのでしょうか。夏の特別展で紹介します。(さ)